

1-4 気体の簡易かつ高精度な流量計測技術

- ・一般的な流量計測技術以外あるいは応用した技術で、簡易かつ高精度に流量計測できる技術
- ・既に稼働している燃焼機器配管などに後付けで簡単に流量を測定できる技術

既存技術



探索技術



背景	燃焼炉では、既に一般的な流量計測技術と制御を組合せた燃焼監視システムは多々あるが、コストを追及すると精度が低下し、精度を追及するとコストが増加する相関となっている
目的	簡易かつ高精度な流量計測技術の実炉への適用可否判断
募集技術	① 燃焼バーナ直近の圧力値から精度よく流量に換算（計測）できる技術
	② 超音波流量計などを配管に装着することで、精度よく流量を計測できる安価な技術
	③ 差圧で幅広く流量換算できる技術(既存オリフィスメータの高精度、広範囲版)

現時点で求める技術の完成度

少なくとも原理となる技術が確立され、実証段階にあること

チェック項目

- ☐ 気体は空気・都市ガスを想定
- ☐ 空気は300℃程度の高温まで想定
- ☐ 計器然としていないこと

例: 検圧口で圧力を計測し、正確な流量を把握